

神奈川県立保土ヶ谷支援学校学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和6年度 第1回 学校運営協議会及び学校評議員会		
開催日時	令和6年5月31日(金)		
開催場所	C棟2階 共同学習室		
出席者	令和6年度保土ヶ谷支援学校 学校運営協議会委員 9名(本校校長を含む) 令和6年度保土ヶ谷支援学校 学校運営協議会事務局教職員 10名		
次回開催予定日	令和6年9月24日(火)		
問合せ先	神奈川県立保土ヶ谷支援学校 副校長 坂梨 尚美 電話 045-714-0126 Fax 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過			
<p>0 自己紹介、会長・副会長承認</p> <p>1 会長挨拶 今年度もよろしく申し上げます。 今回の協議会は、切れ目ない支援部会の協議を中心に行います。</p> <p>2 学校長挨拶 ・児童生徒数は322名から315名に減少したが、依然として大規模校であることに変わりない。 ・教員の人材不足が深刻化している。以前は産育休代替が見つかったが近年はなかなか見つからない。欠員補充もおらず非常勤職員を当てているが、常勤職員は38時間45分勤務のところ非常勤は最大29時間。できるだけ子どもがいる時間に配置して安全に配慮しているが、放課後のグループ業務に支障があり、一部の教員に負担が集まっている。今まで通りにできない可能性もあるが、子供と向き合う時間を優先したい。 ・来年度の50周年に向けた準備を始めている。ご協力をお願いしたい。</p> <p>3 出席者及び会成立の確認(事務局) 副校長 ・9名出席、会は成立</p> <p>4 資料確認、流れ説明(事務局) 副校長 ・資料1・資料2 変更なし ・本日の流れは次第のとおり、この後は渡部会長に進行をお任せする。</p> <p>5 議題(報告・説明) ①令和5年度施設等整備実績報告、令和6年度当初予算 資料3 事務長 ・例年の事業費ベースでは例年と同規模。SBの運営委託費が大部分を占めている。 ・1500万円は校舎の老朽化対策のため特別計上されたもの。令和6年度はついていないため全体の予算は少なく見えるが、教育活動に係る予算は例年通り。</p>			

## ②令和6年度学校運営協議会運営計画

### ◆「学校評価部会」活動計画 **資料4** 副校長

- ・資料のとおり紹介

### ◆「切れ目ない支援部会」活動計画 **資料5①、②** 教頭

- ・資料のとおり紹介

### ◆「農園活用部会」活動計画（資料なし）教頭

- ・令和6年度は周年行事に向けた準備に注力するため、今年度は活動を休止する。
- ・これまで行ってきた農園斜面のダンボール滑り台設置や凧作りなど横浜スポーツ協会とのつながりは切らさない形で実施。
- ・境木商店街との交流、農園でとれた野菜の給食提供も引き続き実施予定。

## ③令和6年度学校目標 **資料6**・**資料7** 学校長

### ◆学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

#### 1 学校のミッションからキーワード3点

- ・1行目「地域とともに」
- ・4行目「一人ひとりの障害の状態等に応じた就労支援の取組」思いや家庭環境も考え合わせた支援
- ・5行目「アセスメントを踏まえた教育実践の取組を推進」

#### 2 学校教育目標「個別最適な学び」

#### 3 計画策定時点での課題 補足説明

- 安全・防災に係る取組の充実：災害対策の他、校舎の老朽化や登下校時の混雑等の課題に対応する。

#### 4 4年間の目標と主な方策 ピックアップ・補足説明

- ・1教育課程 学習指導：4年間で「保土ヶ谷支援ならでは」の教育課程編成を目指す
- ・3 進路指導・支援：「本人参加による進路選択」
- ・4 地域等との協働：win-winの関係を目指して
- ・5 学校管理 学校運営：

体育館や木工室空調工事、老朽化（水道管破裂等）への対応

昇降口正面を明るい雰囲気

働き方改革はなかなか進まないが、削減できるところは削減する。

管理職やリーダー、チーフを引き受ける教員が少なくなる中「やってみたい」と思えるよう負担を減らしていけるとよい。

### ◆ランドデザイン 視覚的に分かりやすいようにまとめたもの。

### ◆学校評価(目標設定) **資料8** **資料9** 副校長

- ・資料のとおり

- ・各学部、グループより **資料10** 年間目標 中心課題として取り組む内容をマトリックスで示している

◆各学部・グループより

<小学部> (小学部L)

- ・配付資料に沿って説明
- ・多くの学年で公共交通機関を使った校外学習も再開できている。

<中学部> (中学部L)

- ・スライド資料に沿って説明

<高等部>(教頭)

- ・スライド資料に沿って説明
- ・授業時間が長いいため5番(働き方改革)に力を入れている。学部会などで取り上げ、業務の平準化ができている。

<舞岡>(教頭)

- ・進路、様々な選択肢があるので、現時点ですでに2回、支援力を上げるために研修を行った。
- ・近隣・高校との協力を進めていく。体育祭は延期のため不参加になってしまったが別の形で進める

<横浜平沼>(教頭)

- ・アセスメント リーダーを中心として自分たちで進めようとしている。個別教育計画に反映。高校との交流も行う。

<管理運営G>(和田迫GL)

- ・スライド資料に沿って説明

<教育企画G>(川口GL)

- ・訂正については資料中に朱書き
- ・その他スライド資料に沿って説明

<教育支援G>(櫻井GL)

- ・スライド資料に沿って説明

<連携支援G>(辻田GL)

- ・アセスメントについて学校の中でできること、外でできること。専門職がやるものではなく教員誰もがができるものという考えで進める。⇒4. 地域の支援力につながる。
- ・地域への発信(校内の良い授業や教材を紹介、地域の教員と話し合う場を設ける。

◆質疑応答、意見

意見(A委員)

- ・働き方改革の一環として、私費会計で起票された伝票のチェックを業務アシスタントにお願いすることで教頭の業務が減った。また会議を減らすという点でTeamsを活用している。学年会の内容などもグループチャットに流すなど「大丈夫か?」と思うこともあるが、回っている。対面の会議を減らすことで業務削減につながっている。また、保護者へも紙面ではなくマチコミで連絡するなどしている。

意見(B委員)

- ・マチコミについて。現状では緊急時の連絡に絞っておりそれも意味のあることだと思うが、活用方法を考えれば大幅な業務削減につながると思う。PTAでも総会の承認についてPTAホームページを使用してオンラインで行っている。紙の集計より大幅に労力を削減できる。

#### 意見（C委員）

- ・紙を配ると優先順位がわかりづらくなる。文書の配付について横浜市立の学校には民間業者（すぐー）が導入され、9割が活用している。権太坂小では今年度中に活用予定だが、不要なチラシなども入ることと、全てペーパーレスになったら逆に見なくなってしまうのではと懸念。チラシ的な情報は掲示板にUPし興味がある方が見に行く、必要な情報はプッシュで送るなど場合分けができるとよい。

#### 意見（A委員）

- ・Google Classroomを活用し、大事なことはこちらに流しリターンなどもこちらでもらうようにし、一方通行の情報はマチコミで、などと使い分けている。

#### Q（B委員）

- ・ロイロノートはどうか？

#### A（C委員）

- ・ロイロノートは不具合があり（学校で見られなくなる）、家では見ないよう周知している。

#### 意見（会長）

- ・具体としてはさまざまなツールを検討し効率化を図っていくと良い。
- ・校長の説明にあった「保土ヶ谷支援学校ならではの教育課程の編成」と言葉を変えることで、ぐっと人間味のある雰囲気になった。

Q：「年間目標」で「年間授業計画を作成し」とあるがどのくらい進んでいるか？

A：（副校長）全て作成済

意見（会長） そうであれば、作成したものを活用し、としたほうが実際に合っているかも。

## 5 議題（報告・説明）

（会長）重点課題「切れ目ない支援部会」をテーマに協議を進めたい。

#### 説明（教頭）

- ・やりたいことはタウンミーティング。企業の話を知りたい人、福祉サービスの話を知りたい人、それぞれの講師をお呼びして、地域や本校の職員に聞いてもらいたい。
- 地域の支援力を上げていくという目標で、今年度は規模の小さいところから始めて、だんだんと内容を広げていきながら切れ目ない支援というものを進めていきたい。

#### Q（会長）

- ・昨年度、副会長・D委員を中心に保護者も入って話し合いを進めた。地域の保護者も参加できるような形で、という内容だったかと思うが、今年度はどうするか。

#### A（教頭）

- ・企業就労に特化せず福祉事業所の方も加わっていただき、「就労支援」から「進路支援」という形で進めたい。第3回の横浜平沼分教室での協議会とは別日に設定予定。
- ・タウンミーティングの対象者は、本校教職員、地域の学校の教員・保護者。
- ・「タウン」のとらえ方。横浜平沼分教室で行うが、平沼（西区）に限らず、本校に通っている保土ヶ谷区・西区なども含めたい。

Q (会長)

・「タウン」というと地域住民・地域の方々というイメージ。地域で暮らすということを考えて、タウンミーティングでは地域の住民の方にも入っていただくのはどうか。

A (教頭) 現時点では、本校及び地域の学校の保護者を対象として始めたい。

意見 (A 委員)

・横浜平沼分教室でやるなら西区の「タウン」になるのでイメージが違って来る。

意見 (会長)

・一緒に考えていくと「タウン」の意味が出てくるのでは。そこを踏まえて輪郭を明確にしてもらえるとよい。

Q (E 委員)

・今年度からメンバーに入った。名称から地域住民の方との交流というイメージを持っていたので、少し違和感を覚えたが、内容としてはよい。

A (教頭)

・地域の住民を巻き込んでということは考えていなかった。

意見 (E 委員)

・事業所同士ではすぐに連携できる環境。地域住民と支え合うという点で今後課題になる。いかに地域を知っていくかということが大事。「福祉ってこういうもの」とやりがちだが、逆に「地域を知る (こんな課題がある、こんな団体がある、こんな人が住んでいる、など)」が大事だと考えている。地域を支える担い手が高齢化/少なくなっているなどの問題もある。いざというときに地域に助けてもらえるような「Win-win の関係づくり」が必要だと考えている。

Q (会長)

・地域、となると (F 委員) の名前が入った方がよいのでは。

Q (F 委員)

・地域としてどのように入っていけばよいか、地域の行事に入り込んでもらおうと洗い出しができるのでは。以前光陵高校の方が地域の会議に参加したことがあった。地域ではどのように進めているかという社会見学的な感じ。

A (副会長)

・地域交流イベントは継続するなど、今までやっていることはちゃんとやる、という確認。

意見 (会長)

・全体的・一体的な画が見えると良い。

・「保土ヶ谷支援学校作品展」について、児童生徒を理解してもらおうという点では良い。地域に声をかけて来てもらおうと良い機会になる。そこを踏まえて計画すると良いのでは。

意見 (C 委員)

・進路説明会について。権太坂小の保護者はまったくイメージできていないので、ありがたい。場所的には本校の方が行きやすい。また、各事業所でやる説明会だと「そこを希望していると思われるかも…」などと保護者がためらうことも考えられるので、このような説明会だと参加しやすい。進路のことは中学校に進学して初めて考えるような雰囲気があるので、小学校段階から参加できるのもよい。

#### 意見（副会長）

- ・中学校の教員も支援学校・インクル校などの選択について理解していない人がいる。

#### 意見（G委員）

- ・平沼だと参加しにくいかもしれない。ここ(本校)でもやってもらえると権太坂境木地区の方に声をかけやすい。

#### 意見（B委員）

- ・オンラインだと、さらに参加しやすいかもしれない。仕事を休まずにちょっと見られる、という感じで。Zoomなども活用できればよいのでは。

#### 意見（会長）

- ・今の内容を踏まえて構成など考え進めてほしい。

Q：資料5について、名前が埋まっていない部分は？

A：(教頭)現時点で未定。

#### 意見（副会長）

- ・厚生省の「福祉」の部分を、学校のセンター的機能がどこまで賄うか。本当は全部を福祉課がやらなければならない。「学校ならでは」というところを切り取る必要がある。そうしなければ瓦解する。

#### 意見（会長）

- ・業務削減に反してしまうことになるかもしれないが、お願いしたい。本日はキックオフとしてよい機会となった。

### 7 事務連絡（副校長）

- ・今後の日程についてアンケートあり、回答をお願いしたい。
- ・(事務長より) 報償費について令和6年度から改定された。年額6,000円は運営協議会が終わった後に支払うと県全体で規定が変わった。

### 8 副会長挨拶

「切れ目ない支援部会」はいただいた意見をもとに進めたい。早めに第1回を持ちたい。就労雇用率のことで言うと障害者総合福祉法により令和5年度2.3%、令和6年度2.5%、令和8年度2.7%と段階的に引きあげられていく。そのための支援としてアセスメントの重視、就労選択支援など、4年間の計画に盛り込まれている。

### 8 会長挨拶

切れ目ない支援部会 早い時期に集まりたいということなのでよろしくお願いいたします。

～本会において、各内容が承認された～